

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172000788		
法人名	株式会社アイケア小樽		
事業所名	グループホームアイケアおたる 1F		
所在地	〒047-0017 小樽市若松2丁目1番18号		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	平成28年4月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当ホームでは現在98歳を筆頭に90歳以上の入居者様が全体の約半数の方が居ります。
 ・健康管理には十分気を付け主治医、訪看との連携を密に行って居ります。
 ・ついの住処と選んで頂いた当ホームでの生活が健康で毎日が楽しく本当に此処での生活で良かったと思っ頂ける様職員もご支援させて頂いて居ります。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0172000788-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成28年3月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)ホームの環境：南小樽駅から徒歩10分程度の交通至便の準工業地域にある。創建12年になり、約半数が5年以上の利用者で高齢度も高いが、介護の設備も機能的で支援しやすい環境にある。
 2)職員の態度・姿勢：高齢化と重度化の状況に在りながら、利用者個々の心身の状態に応じた対応を共有しつつ真摯な支援に当たっている。
 3)利用者・家族の満足：家族も高齢化するなど個々の課題も多いが、介護日誌を送り理解を深め、家族の来訪時には意向を伺い支援に活かしている。
 4)運営推進会議開催状況：会議がほぼ3か月に1度の開催で、地域の民生委員・家族などの参加を得て、利用状況・行事・職員紹介・医療連携等運営状況を報告して意見を伺い運営に活かしている。
 5)地域との連携関係：町内会との結びつきを大切に、地域の祭りや若松町の総会に参加するなど協力関係に留意している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念で有る(目配り、気配り、心配り)理念に沿ったご支援を入居者様にご提供出来る様に努力して居ります	職員は利用者本位の支援に努め、目配り、気配り、心を留める介護を理念に、この実践に向けて真摯な姿勢で臨んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	年1回町会総会参加、2ヶ月に1回の資源回収、町会祭典時子供神輿参加させて頂いて居ります	町内会との連携を大切にして、高齢者介護への支援や理解を得るよう努め、街ぐるみの夏祭りではホームでの神輿を楽しむなど共に楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時などに意見を聞かせて頂いて居ります		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度4回開催、運営推進会議で入居者様の状況、行事報告等を致しております	年内4度の開催をして、利用者の生活状況・職員の紹介・行事等の内容を報告して、意見等を運営に活かしている。	議事録には参加者の状況、特に、行政・包括支援センターの参加と助言・情報交換、地域の関係者の意見等を記録して運営に活かしている状況を明らかにするよう検討を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からない事が有ったりした場合介護保険課等に電話をいれ相談して居ります。GH協議会に参加させていただいており行政の理解に努めて居ります。	担当課との連携を図るとともに、利用者の生活状況に応じた窓口との関係者とも連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開催出来て居りません。開催出来る様努めます	拘束等は運営規程・重要事項の基準に準じて職員間の理解と共有を図り、その人らしさを大切にして虐待や人権を損なうことのない介護に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等参加したいと思えます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員の研修の場を設けたいと思います。成年後見人を必要とされている入居者様1名		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書、口頭にて丁寧に説明させていただいておりますが、疑問等に関してはいつでも対応させていただきます		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情箱設置しご家族様からの要望、意見等聴く事が出来る様努めております。介護日誌等毎月郵送させて頂いて居ります	家族の事情も高齢化等による厳しさもあり、毎月の介護日誌を送り、理解と意向をうかがい、かつ来訪時の意見を大切にしよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見を出来るだけ聞き入れ運営に反映出来る様努めています	職員の意向の反映の重点は、業務上の申し送りや業務上の場面や機会を通じて伝えあい、業務内容の共有化に努めている。	現場での即応に姿勢がうかがわれますが、業務上の目標設定と、その効果を話し合う機会などの工夫の検討を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	環境整備に努めて居ります		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員研修参加に努めて居ります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年2回の親睦会(交流会)参加させて頂いて居ります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分な情報が得られる様ご本人様と面談し安心して入居して頂ける様思いを聞く事に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に困っている事や心配している事に対して十分お話しを聞くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に内容を聞き、他のサービスが可能であれば紹介したりその方のニーズに合ったものをすすめている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者全員と職員は家族であると認識し、お互いのできることをしながら協力し合い暮らせるよう心がけている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子を介護日誌と一緒にお手紙を送付し、報告や連絡を密にし家族と一緒に本人を支える関係が保たれている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	高齢化することで馴染みの場所との関係がうすれてきている方もいる。 ご家族と一緒に馴染みの美容室に行かれています方もいる。 馴染みの場所を聞いてドライブに出かける等支援に努めている。	利用者は地元出身者が多く、家族来訪の機会と一緒に出向いたり、季節に応じて馴染みの場へのドライブなどの試みをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションやドライブ、行事等を通じて関わり合いながら、お互い理解しあえる機会をもつよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談があった時に対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での話しや訴えにより本人の希望を把握している。意思確認の困難な時は表情から思いをくみとり本人の立場で何が一番良いかを検討している。	長期の利用者も多く、入所以来の生活上の態度や動作を含め、家族の話も取り入れて、本人の希望や意向を捉えるよう努めて対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にアセスメントに目を通し本人やご家族様から聞き取り、把握できるようにしている。また、利用していたサービス関係者とも連携し情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや記録をもとにその日の様子を把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から意向を聞き介護計画を立案しまた、本人からの聞き取り困難な場合もあり、介護者が代弁になり家族に連絡確認後立案につなげている。	利用者個々の介護計画に基づいた観察記録を職員相互が共有できるよう努めるとともに、家族の意向を取り入れ、介護支援計画者を軸に計画し家族の承諾を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りでその日の気づきや工夫を記録し職員で共有し次の計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	残存機能を低下しないように毎日体操を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理容や地域の消防署と連携し避難訓練を年2回実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望する医療機関で受診されている。月2回の往診、また週2回の訪問看護師と連携をとっている。 薬剤師から服薬に関しての指導を受けており訪問歯科にも対応している。	入所の際に協力病院等を協議し、家族等の了解を得て選択して、月2回の往診、訪問看護師との連携、訪問歯科医・薬剤師の服薬指導等を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医師の指示により訪看された時に対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院後の注意点を話し合い連携を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族にホームでの対応、説明行っています。	重度化や終末期の対応は協力病院との連携の下に、その個々の状況に応じて対応指針に基づき文書化し、家族等と協議して具体的な対応に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	状態変化対応は指導されています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や町内会の協力もお願いしています。	消防署の協力の下に町内会の協力を得て、年2度の想定訓練を行っている。	近年の災害関係の突発化や被害の予測できない事態も多く、地域ぐるみでの消防署の情報を共有して相互の役割等を確認し、備蓄の在り方等についても一層の検討を期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけをはじめ楽しい生活になるよう個々に配慮し気をつけ取り扱っています。	理念に準じ、その人らしさを大切にされた対応に努め、個々の人格や個性を損なうことのないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	多く声かけや会話を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	状態や思いなど良い方向で対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度の理髪や服装なども気をつけ対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事月は要望食提供しています。	個々の心身の状況に応じた食事作りに努め、誰もが楽しい食事、美味しい食事となるよう配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がバランスよくメニューを作っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアしています。 週2回義歯の洗浄をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声かけにてトイレ誘導を行っています。	排泄パターンや個々の自立度を職員が共有して、可能な限り自立支援ができるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	軽い運動し水分を取っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回入浴、シャワー浴、清拭をしています。	利用者の心身の状況に応じた入浴をこころがけ、シャワー・清拭等も含め週2回の入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に合わせて調整行う。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬剤師から薬の説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人個人に合わせて楽しめる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとの行事をして入居者様とコミュニケーションをとるようにしています。	季節に応じて玄関先で外気に触れ、時に、買い物や近隣の散歩、ドライブでの小旅行や行事を通じた外出などの機会を工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	誕生日のプレゼントやお孫さんのお年玉や入居者様がお金を使用できるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様からご家族様に電話したい事があれば電話をして頂いています。月1回ふれあい日誌等でご家族に報告しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昼夜、大きな物音に配慮しています。共用の空間は整理整頓、清潔にして気持ちよく過ごして頂いています。	共有の居間は陽がよく入り、温度や湿度の管理、採光の対応などに配慮した環境づくりをしている。季節の飾り物や清潔さを保ち、常緑の鉢を配置するなど居心地の良さを工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに話をされたり、新聞や本を読まれたりして過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様やご家族様と相談しながら心地よい居室の空間作りをしています。	個々の好みやなじみの備品、家族の写真等で部屋を飾り、心身の状況に応じたイス等を配置した居室づくりを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の持っている能力を活かし、新聞たみや、洗濯たみやなどリハビリを兼ねて行っています。		